

2023年10月11日

各位

東京都台東区東上野一丁目7番15号
ヒューリック東上野一丁目ビル5階
株式会社エス・ピー・シー
代表取締役社長 伊藤 雅文
(コード番号: 6255 東証グロース)
問合せ先 専務取締役 廣澤 一夫
(TEL 03-6240-1206)

中期経営計画に関するお知らせ

当社は2022年10月12日付「中期経営計画に関するお知らせ」において、2023年8月期から2025年8月期までの3ヵ年を対象とする中期経営計画について公表いたしました。この度、改めて下記の通り2024年8月期から2026年8月期までの3ヵ年を対象とする新たな中期経営計画を策定しましたので、お知らせします。

記

1. 背景

当社は、太陽電池製造装置やFA装置の提供をはじめとする装置関連事業と、太陽光発電所の検査、太陽光パネルのリユース販売や中間処理、太陽光パネル解体装置の提供、植物工場ビジネスなどの環境関連事業を国内外に向けて展開しており、2022年10月12日に初めて中期経営計画を公表しました。

この度、当社の取り組みが順調に進捗していることを踏まえ、中期経営計画を見直すことといたしました。太陽電池製造装置に関しては、米国太陽電池メーカーである主要顧客の設備投資が順調に進捗し、今後も生産能力拡大のための装置需要が見込まれることとなりました。また、国内外でペロブスカイト型、有機薄膜等の次世代型太陽電池の開発が進んでいます。太陽光パネルのリサイクル装置に関しては、欧州を始めとした海外市場、国内市場で順調な売上増加が見込まれます。また、装置部品や太陽光発電所の検査サービスが堅調に推移し、ストックビジネスとして安定化する見通しです。その他、SDGsに貢献する新たな事業として、鶏糞・食品残渣の肥料化ビジネスが具体化する見込みです。

利益面では、仕入コストや製造工程における工数の削減等により、原価低減を実現しております。これらの状況を踏まえ、新たな中期経営計画を策定することとしたものです。

2. 中期経営計画の基本方針

政策的支援を背景に長期的な市場の成長が予測される米国太陽電池業界や、国内電子部品業界への装置提供を事業の主軸としながら、今後ニーズの高まりが予想される太陽光パネルのリサイクル装置の提供、FA装置の更なる顧客の獲得、太陽光パネルの検査、リユース・リサイクル、植物工場などのストックビジネスの蓄積、また循環型社会の実現に貢献する新しい製品やサービスの投入によって事業領域を拡大することで、事業バランスの最適化と安定的な成長を目指します。また、需要の増加に対応するべく、人材確保を通じて生産能力を強化してまいります。

3. 数値目標（連結）

（百万円）

	2023年8月期 （実績）	2024年8月期 （計画）	2025年8月期 （計画）	2026年8月期 （計画）
売上高	9,320	10,384	11,000	12,000
装置関連事業	8,689	9,865	10,200	10,800
環境関連事業	631	519	800	1,200
営業利益	976	1,584	1,700	1,900

※上記予想は、本資料公表日現在において当社が入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により異なる可能性があります。

4. その他

2023年10月13日に開示する「2023年8月期決算説明会資料」にも詳細を記載いたしますので、ご覧ください。

以 上